

平成 27 年 4 月 30 日

各 位

会社名	株 式 会 社	原 弘 産
代表者の役職氏名	代表取締役社長	原 孝
	(コード番号 8894 東証第 2 部)	
問い合わせ先	専務取締役	園 田 匡 克
電話番号	0 8 3 - 2 2 9 - 8 8 9 4	

資本金、資本準備金及び利益準備金の額の減少、並びに剰余金の処分に関するお知らせ

当社は、平成 27 年 4 月 30 日開催の取締役会において、平成 27 年 5 月 30 日開催予定の第 29 回定時株主総会に、以下のとおり、資本金、資本準備金及び利益準備金の額の減少、並びに剰余金の処分について付議することを決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 経緯及び目的

当社は、平成 27 年 2 月期において当期純損失 579,357,269 円を計上し、繰越欠損金 14,702,054,479 円を計上するに至っております。そこで、繰越欠損金を解消し財務体質の健全化を図ることを目的として、資本金、資本準備金及び利益準備金の額の減少並びに剰余金の処分を行うものであります。

2. 資本金、資本準備金及び利益準備金の額の減少の要領

会社法第 447 条第 1 項及び第 448 条第 1 項の規定に基づき、資本金の一部、資本準備金及び利益準備金の全額を減少させ、資本金及び資本準備金についてはその他資本剰余金に、また、利益準備金については繰越利益剰余金に、それぞれ減少する額の全額を振り替えるものであります。

(1) 減少する資本金、資本準備金及び利益準備金の額

- ・ 資本金の額 9,055,175,403 円を 7,555,175,403 円減少して、1,500,000,000 円とします。
- ・ 資本準備金の額 4,575,314,497 円を全額減少して、0 円とします。
- ・ 利益準備金の額 47,532,190 円を全額減少して、0 円とします。

(2) 資本金、資本準備金及び利益準備金の額の減少の方法

払い戻しを行わない無償減資とし、発行済株式総数の変更は行わず、資本金、資本準備金及び利益準備金の額のみを減少いたします。

資本金の減少額 7,555,175,403 円及び資本準備金の減少額 4,575,314,497 円は、全額その他資本剰余金に振り替え、利益準備金の減少額 47,532,190 円は、全額取り崩し繰越利益剰余金に振り替えます。

3. 剰余金の処分の要領

上記2.による利益準備金の繰越利益剰余金への振替えの結果、繰越利益剰余金は14,654,522,289円の欠損となりますので、会社法第452条の規定に基づき、上記2.による資本金及び資本準備金の額の減少によって増加するその他資本剰余金の全額12,130,489,900円、自己株式処分差益の全額200,458,432円及び別途積立金の一部2,323,573,957円を繰越利益剰余金に振り替えることにより繰越利益剰余金の欠損を補填するものであります。これにより、繰越利益剰余金は0円となります。

(1) 減少する剰余金の項目及びその額

その他資本剰余金	12,130,489,900円
自己株式処分差益	200,458,432円
別途積立金	2,323,573,957円

(2) 増加する剰余金の項目及びその額

繰越利益剰余金	14,654,522,289円
---------	-----------------

(3) 増加後の剰余金の項目及びその残高

その他資本剰余金	0円
自己株式処分差益	0円
別途積立金	111,426,043円
繰越利益剰余金	0円

4. 資本金、資本準備金及び利益準備金の額の減少、並びに剰余金の処分に関する日程

- | | |
|-----------------|----------------|
| (1) 取締役会決議 | 平成27年4月30日 |
| (2) 株主総会決議 | 平成27年5月30日(予定) |
| (3) 債権者異議申述公告 | 平成27年6月1日(予定) |
| (4) 債権者異議申述最終期日 | 平成27年7月1日(予定) |
| (5) 効力発生日 | 平成27年7月9日(予定) |

5. 今後の見通し

本件につきましては、「純資産の部」における項目間の振替処理であり、当社の純資産額に変更を生じるものではなく、本件が個別及び連結業績に与える影響はありません。

以 上